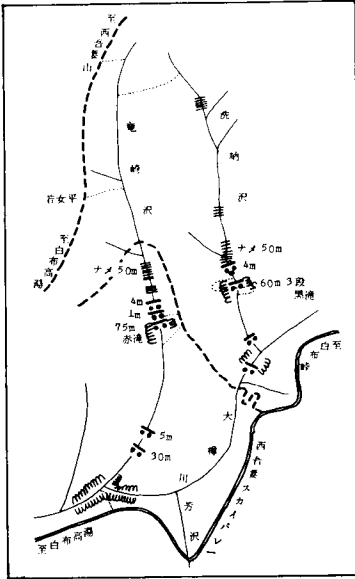


つたが、そのまま本流を進む。一時間程歩くと滑。二〇分位の長さはあろう。右より支沢が滑となってそいでいる。ここよりこの小沢に入る。本流は少し先で二分程の小滝がかかっていた。すぐ水もかれ二五分程で登山道に出た。ずいぶん上まで遡ってきたもので、ヤハズ沢の水源となっている馬場谷地の湿原まで三五分かかった。

(記・)

〔タイム〕

芳沢出合七・三五―洗納沢出合八・二〇―淀沢出合八・三〇―ヤハズ沢出合九・五五―沢終了一一・二〇―登山道一一・四五―馬場谷地一二・二〇―白布峠一三・二五



竜崎沢、洗納沢 (作図:)

竜崎沢 (下降)

一九七八年八月十三日

◆天気(晴)

一時二〇分下降開始。最初は平凡である。やがて踏跡が沢を横切る。その踏跡はスカイバレー開通記念碑の建つ展望台へと続いているようだ。ナメを越えなおも下ると小滝がある。そしてすぐ赤滝。七五分の垂直に近い滝だ。左岸ブッシュ帯を下ろうとしたが下部が岩壁にさえぎられてとても無理。大きく左岸をまいたら先ほどの踏跡に出た。踏跡を下ったあとまたブッシュの中に入り赤滝の下に出る。一二時二〇分、三〇分程休んでまた出発。その先の五十分滝は慎重にクライミングダウン。すぐ三〇分滝。右岸を少し下ったあとザイルを出して二〇分の懸垂下降。登ることならできそうだ。このあとすぐ大樽川に出る。一三時四五分。

〔タイム〕

若女平一一・一〇―沢一一・二〇―赤滝一一・四五―大樽川出合一三・四五